

いわせほっとニュース

<http://iwase-hp.jp>

発行日 2014年12月1日

〔公立岩瀬病院の基本理念〕

患者さん中心の医療を実践し、地域の皆さんに信頼される病院をめざします。



10月12日に第11回病院フェスティバルを開催しました。ご来場いただきありがとうございました。

(関連記事は5ページに掲載しています。)

目次

- | | |
|---|------------------------------|
| ◆ 新しい試み — 福島県立医科大学臨床研究
イノベーションセンター 2 | ◆ 病院用語ナビ
『ドケルバン病』 5 |
| ◆ がん医療の現在② 3 | ◆ インフルエンザ予防接種 5 |
| ◆ 着任医師のご紹介 3 | ◆ ユニフォーム紹介 5 |
| ◆ 病院グランドオープン 4 | ◆ 健康レシピ 6 |
| ◆ シリーズ チーム医療③ 4 | ◆ 当院の看護師が表彰されました 6 |
| ◆ 院内職場紹介「栄養管理科」 4 | ◆ 病院ホームページ情報 6 |
| ◆ 病院フェスティバル開催 5 | |

新しい試みー福島医大臨床研究イノベーションセンター

福島県や各市町村では健康長寿を大きな目標に掲げており、「寿命を延ばすこと」から、「寿命をいかに良く生きるか」が課題です。福島県では全国と比較して急速に高齢化が進んでいることはもちろん、子供や中年層の不健康度も全国でトップクラスです。

福島県立医科大学臨床研究イノベーションセンターは、治療より予防、住民一人一人の行動変容、そして地域力の強化という新しいモデルを提示、この程須賀川市の健康長寿推進事業とタイアップし、その事業の効果をモニタリングし、科学的に評価、改善をすすめていくことになりました。

同時に、臨床研究イノベーションセンターでは昨年度来、「臨床研究フェロシップ」という制度を開始しています。心と腕のある県外の若手医師に福島に来ていただき、福島県民医療の支援を行うと同時に、十分な学習時間を確保しながら、未来の福島、日本の臨床研究を牽引するリーダーになっていくことをめざしています。

臨床研究フェロシップは画期的な制度です。半年ですでに6名の素晴らしい医師が全国各地より家族共々福島県に移り住み、この健康長寿推進事業に参加されています。併せて9月1日より当院に総合診療医として、月曜、金曜に各1名、火曜、木曜に各2名の計6名の先生方に医療支援をいただいています。この事業は当院および地域にとって、まさに救世主のような存在です。始まったばかりですが、職員一同大きな期待を寄せています。

臨床研究イノベーションセンターについては福島県立医科大学のHPに詳しく紹介されています。ぜひご覧下さい。



先生紹介

①出身大学 ②出身地 ③専門分野 ④認定医・専門医等 ⑤趣味



小林 奏 先生

- ①奈良県立医科大学
- ②東京都 ③神経内科
- ④日本内科学会認定医、
日本神経学会専門医・指導医
- ⑤ギター、ドラムス、ハイキング、
シュノーケリング

専門は神経内科ですが「ことわらない(内)科」が理想です。福島に転居して1年たちました。健康長寿の全国1位を目指してみなさまと共に頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



飯田 英和 先生

- ①千葉大学 ②栃木県 ③腎臓内科
- ④日本内科学会認定医
- ⑤ゴルフ、テニス

福島には小学生の頃にスキーをしたり、学生時代にゴルフをやっていたので大会で訪れたりした事がありましたが、今回ふとしたご縁で福島にお世話になることになりました。公立岩瀬病院では月曜日の総合診療外来を担当させていただきます。いろいろとご迷惑をおかけすると思いますが早く皆様の役に立てるようにがんばりたいと思いますのでよろしくお願い致します。



佐々木 彰 先生

- ①福岡大学 ②福岡県
- ③腎臓・高血圧内科
- ④日本内科学会認定医
- ⑤音楽(インドの楽器 シタール演奏)、
旅行

9月から診療を始めましたが毎日、患者様や病院のスタッフの方々からエネルギーを頂いています。須賀川に来るのが本当に楽しみです。私も、元気を頂くばかりでなく、皆様の健康のために出来る事を精一杯行っていこうと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



西脇 宏樹 先生

- ①昭和大学 ②千葉県 ③腎臓内科
- ④日本内科学会総合内科専門医、
日本腎臓学会専門医、日本透析
医学会専門医、日本プライマリ・
ケア連合学会認定医・指導医、日
本リウマチ学会専門医
- ⑤剣道・山登り

妻と子供とともに家族3人で福島に参りました！地域の皆様の健康づくりのお手伝いをしていきたいです！よろしくお願い致します！



新畑 覚也 先生

- ①大阪大学
- ②広島県
- ③一般内科
- ④日本内科学会認定医
日本透析医学会専門医
- ⑤バスケットボール



矢嶋 宣幸 先生

- ①昭和大学 ②新潟県
- ③リウマチ膠原病
- ④日本内科学会認定医
日本リウマチ学会専門医
指導医・評議員
- ⑤テニス

双子の子供達と家族で福島に参りました。地域の健康のために尽力したいと思います。

須賀川地域の皆様の健康をサポートさせていただきたいと思っております。お気軽にご相談ください。

がん医療の現在 ② ～がん検診について～

がん化学療法看護認定看護師 長澤 由紀

皆さんは、年に1度、定期的に職場や学校、医療機関などで「健康診断＝(健診)」を受診していると思います。一般的な健診は対象の病気を定めず、身体に異常がないかどうかを調べます。それに対し、一部の職場健診や「がん検診」のように特定の病気に絞って調べる「検診」もあります。

がん検診はがんを対象にした検査です。胃や大腸・肺・乳房・子宮などががんができる部分が異なればがんの特徴も変わってきます。がん検診では、それぞれのがんを調べるのに適した検査が用意されています。

※市町村によるがん検診の概要

	対 象	内 容	検 診 率
胃 がん	40歳以上	問診・胃部X線検査	男性:36.6% 女性:28.3%
肺 がん	40歳以上	問診・胸部X線検査・喀痰細胞診	男性:26.4% 女性:23.0%
大腸がん	40歳以上	問診・便潜血検査	男性:28.1% 女性:23.9%
子宮がん	20歳以上 女性	問診・視診・子宮頸部細胞診・内診 2年に1度	女性:28.7%
乳 がん	40歳以上 女性	問診・視触診・乳房X線検査(マンモグラフィ) 2年に1度	女性:30.6%

(※検診率は、国立がん研究センターがん対策情報センター・平成22年度男女別がん検診受診率による)

※各市町村により内容が多少変わります。詳細はお住まいの市町村へお問い合わせ下さい。

がん検診の目的は、がんを見つけることだけではありません。検診の対象となる人達の死亡率や罹患率を低下させることが、がん検診の目的です。これまでの研究によって、胃がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん、大腸がんの5つのがんは、それぞれ特定の方法で行う検診を受けることで早期に発見でき、さらに治療を行うことで死亡率が低下することが科学的に証明されています。

がん検診の中でも、大腸がん検診の受診率は全国的にも低いのが現状です。須賀川市でも大腸がん検診の受診率が低くなっています。そこで、昨年度より須賀川市で40、45、50、55、60歳の方に無料クーポン事業を開始しています。早期で見つければ、がんは決して怖い病気ではありません。「精密検査が必要」と判定されたら早期がんを見つけられるチャンスと考え、自分のため、そして心配してくれる家族や周りの人のため、まずは「がん検診」を受けるようにしましょう。次回はがん治療についてお話ししたいと思います。

当院の着任医師のご紹介



氏 名：清水 要 先生
 診 療 科：麻酔科
 専門分野：麻酔科一般
 出 身 校：北里大学(平成 11 年卒)
 出 身 地：熊本県八代市
 趣 味：山登り・ゴルフ

地域住民の皆さんへのひとこと：
 より安全で質の高い周術期管理と効率的な手術室運営を目標として、地域医療に貢献できる様頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。



氏 名：佐藤 賢一 先生
 診 療 科：小児科
 専門分野：小児科一般
 出 身 校：福島県立医科大学(平成 23 年卒)
 出 身 地：福島県本宮市
 趣 味：ドライブ

地域住民の皆さんへのひとこと：
 10月から勤めることとなりました。頑張ってお参りますので、よろしくお願い致します。

公立岩瀬病院グランドオープン



建物や設備の老朽化が著しく、また手狭となり、近年の医療需要に的確に対応することが困難となっていた築50年以上となる6・7病棟の改築を決断して7年になります。この時の決断が、後の東日本大震災からの本院の復旧・復興を支えたのだと思います。

震災後は、1日も早い復旧と新たな病院整備方針による復興をめざしました。被災した建物などの復旧が、多くの場所で一斉に開始されたことから、専門技術者や職人、建設資材、重機類などが不足し、各地で工事発注や施工の遅れ、工事費の高騰などが発生し、現在も続いています。このような状況に加え大雪の影響など、多くの困難のなか、設計・監理の株佐藤総合計画さん、工事受注の株安藤・間さん、そして多くの職人さんたちの力で、新外来棟を平成25年度内に完成することができました。

この復旧・復興の3年半は、私たちの記憶とともに、明治の創設から140年以上の長い病院歴史のなかでも大きな1ページとなることでしょう。



シリーズ チーム医療 ③ 「自分の科から見るチーム医療について」

リハビリテーション科 技士長 鈴木 一 良

医療の高度化と専門化が進むにつれ、複数の専門スタッフが組織的に取り組むチーム医療の重要性が高まっています。リハビリテーションにおいても、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、医療ソーシャルワーカーなど複数の専門スタッフが、患者さんの抱える問題をそれぞれの専門の立場から分析し、様々な手段を使って総合的に解決します。

今日のリハビリテーションはまさにチーム医療であると言えます。また、リハビリテーションにおけるチーム医療は院内だけにとどまらず、地域との連携も重要になっています。国は、『地域包括ケアシステム』の構築を実現することによって、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的にできるまちづくりを実現し、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続ける姿を目指しています。

当科においても、チーム医療を推進していきます。

部署紹介

《栄養管理科》

栄養管理科のスタッフは現在31名です。平成17年に『給食課』から『栄養管理科』になり、栄養相談、NST（栄養サポートチーム）、病棟で月に一回おこなっている“あい・カフェ”などで患者さんと接する機会が多くなりました。

NSTは患者さんに一日でも早く良くなっていただけるよう、“あい・カフェ”では入院中に少しでも潤いのある時間を提供できるよう、取り組んでいます。

また、入院中、制限のある中でも安全でおいしい食事を提供できるよう、努力しています。新厨房になってからは温冷配膳車を使用し、温かいものや冷たいものを適温でお届けできるようになりました。行事食など、季節感のある食事とし、できるだけ個人対応もしています。

今後も患者さんに喜んでいただけるよう、栄養管理科一同努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



第11回 病院フェスティバルが開催されました

《健康長寿のまちへ ー元気に年を重ねられるすかがわー》をテーマに第11回病院フェスティバルが10月12日に開催されました。台風の影響を心配する毎日でしたが、当日はさわやかな秋晴れとなり、すばらしい開催日和となりました。来場者は今までの人数を上回り約870人と大盛況でした。新外来棟が開設されてはじめてのフェスティバルでしたが、ボランティアの方々の力をおかりして無事に終わることができました。

今年度もイベントの企画に地域住民の方々が協力をしてくださいました。バザー、語り部、落語、コンサート、ヨガ等、そして遠くアクアマリンふくしまからもご協力をいただきました。これらのご協力がフェスティバル大盛況の大きな要因だったと思います。あらためて公立岩瀬病院は地域住民の方々からの大きな支えがあって成り立っていると感じた一日でした。

須賀川・岩瀬・石川地域の健康長寿日本一のまちづくりはこれから先ずっと続いていきます。これからも私たち職員一同は、公立岩瀬病院の責務・役割を自覚し、地域の方々から信頼され、愛される病院となることを目指して努力していきたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。フェスティバルにご協力いただきありがとうございました。



地元の方による落語



アクアマリンふくしまさんによるクラゲの話



～「ドケルバン病」とは？～

近年「ドケルバン病」という病気の患者が増えています。以前は妊娠・出産期や更年期の女性に多く、またスポーツや指をよく使う仕事の人に多いのが特徴でしたが、最近は「スマホの使い過ぎ」で急増しています。ドケルバン病とは、親指に付着する短母指伸筋腱と長母指外転筋腱が手背の背面にある腱鞘を通るところに生じる腱鞘炎をいいます。

一番の治療は手を使わず安静にしていること、その他局麻剤入りステロイド注射などの保存療法があります。保存療法で治らない時には手術療法となります。

スマホの片手打ちをする方は要注意です!!

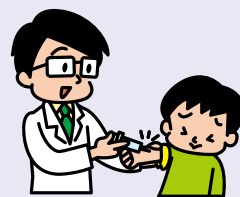
インフルエンザ予防接種

インフルエンザは風邪と比べて非常に感染力が強く、症状の現れ方が急激で、しかも重いのが特徴です。乳児や高齢者は一般的に身体の抵抗力が弱いので、症状がひどくなり生命を脅かす合併症を起こすことがあるので十分注意が必要です。

インフルエンザワクチンにはこの重篤な合併症や死亡を予防し、健康被害を最小限にする効果が認められています。

重い全身症状の悪化を予防するためにも、予防接種を受けましょう!

詳しくは病院医事課までお問い合わせ下さい。



ソーシャルワーカー

ユニフォームが新しくなりました

今年5月より全職員のユニフォームが変わり、職種ごとに異なるデザインになりました。今回は、検査科とソーシャルワーカーのユニフォームを紹介したいと思います。

検査科のユニフォームの上着の色は紫、ズボンの色は白、ソーシャルワーカーのユニフォームの上着の色はエンジ、ズボンの色はベージュです。襟周りが広がったことによって、着やすくなりました。また、通気性も良くなりました。



検査科

健康レシピ



骨や筋肉を維持したい方へ「里芋と鮭のイガ栗コロッケ」

3個分 エネルギー/399kcal 蛋白質/14g 脂質/21g
炭水化物/33g 塩分/1.5g

《材 料》(約15個分)

・里芋(皮をむいたもの)	300g	・砂糖	小さじ2
・生鮭	2切れ	・揚げ油	適量
・玉ねぎ	1/2個	「・そうめん	1~1.5束
・とろけるチーズ	40g	衣・卵	1個
・酒	大さじ1	「・小麦粉	適量
・バター	小さじ2	*飾り野菜	適量
・味噌	大さじ1と1/2		

作り方

- ① 里芋はレンジにかけて柔らかくしてつぶす。
- ② 生鮭に酒をふりレンジで加熱し、ほぐしておく。
- ③ 玉ねぎはみじん切りにして、フライパンにバターを入れ炒める。火が通ったら味噌、砂糖を加えよく混ぜる。
- ④ ①に③とほぐした鮭を入れよく混ぜる。粗熱がとれたらチーズを加えて適当な大きさに丸める。
- ⑤ そうめんは1cmくらいの長さに折っておく。丸めたものに小麦粉、卵、そうめんの順で付ける。
- ⑥ 170℃の油できつね色になるまで揚げる。
- ⑦ 飾りの野菜を添える。

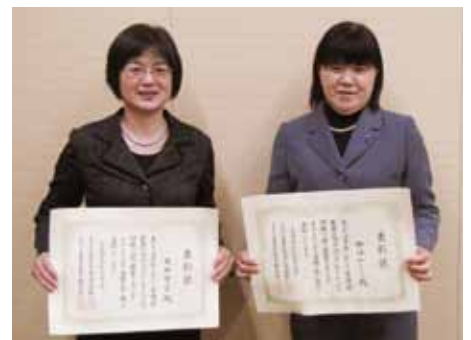
鮭には良質なタンパク質やカルシウムの吸収を助けるビタミンDが含まれます。芋類は加熱してもビタミンCが壊れにくいので里芋の代わりにじゃがいもや南瓜でも良いでしょう。運動の秋ですので、意識的に体を動かし骨・筋肉・関節の維持に努めましょう。

当院の看護師が表彰されました

10月8日(水)福島市の杉妻会館において、「平成26年度 健康ふくしま21推進県民表彰式」が開催されました。

これは、「第二次健康ふくしま21計画」を推進していくためには県、市町村及び関係機関・団体等健康づくりの関係者をはじめ、県民の総意と活力を結集し、連携・協力した取り組みが重要であるため、県民の健康づくりに関わる公衆衛生事業の推進に献身的な活動を続け、他の模範となる実績をあげた個人及び団体を表彰するものです。

今回、優良看護師として13名の方が表彰され、公立岩瀬病院からも飛田智子主任看護師、柳沼みどり主任看護師2名が表彰されました。



当院では、病院の情報を掲載したホームページを公開しております。外来担当医の診療予定表をはじめ、各科の医師紹介、小児科のお子さんの病気に関するQ&Aなど様々なコンテンツを掲載しておりますのでどうぞご覧ください。

アドレスは <http://iwase-hp.jp> となっています。



スマートフォンをご使用の方は、QRコードをご利用ください。

編集・発行 公立岩瀬病院 広報委員会(広報誌発行部会)

〒962-8503 福島県須賀川市北町20番地

Tel 0248-75-3111 Fax 0248-73-2417 E-mail koho@iwase-hp.jp